

# これからの社会的養護の在り方 ～愛知県の社会的養育推進計画～

## ■愛知県の計画と方向性

### あいちはぐみんプラン 2020-2024

……………（第4次愛知県少子化対策推進基本計画）から

第3章 子ども・子育てに関する課題と取組

Ⅲ すべての子ども・子育て家庭への切れ目ない支援

基本施策 16 社会的養育の体制整備

### 社会的養育の体制整備について

……………前・愛知県福祉局児童家庭課 課長補佐 鮎川 征一郎

### これからの社会的養護の課題

……………名古屋市立大学大学院 准教授 谷口 由希子

## ■施設の取り組み

小規模化の実践……………岡崎平和学園

一時保護ユニット……………3施設の実践

里親啓発フォスタリング事業

……………中日青葉学園あおば館 課長 阿尾 匡晃

## 特集にあたって

2016（平成28）年に施行された改正児童福祉法で、社会的養護の子どもは、より家庭に近い環境で育てる必要があるとの理念がうたわれました。これを実現するために国は、2017（平成29）年に「新しい社会的養育ビジョン」をまとめ、まずは里親・ファミリーホームを優先し、施設は、地域化・小規模化をすすめ、本体はケアニーズが高い子どもを対象とする方向性が示されました。国は、具体的な数値目標を盛り込んだ都道府県ごとの「社会的養育 推進計画」をまとめるよう求めました。愛知県は、2020（令和2）年に、子ども・子育てに関する総合的な計画である「あいちはぐみんプラン2020-2024」の中に組み込んで発表しました。

特集Ⅰでは、県の将来展望と課題をまとめるとともに、施設における小規模かつ地域分散化、多機能化に向けた取り組みを紹介します。